

11 / 10 (日) の行事

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 11月 6日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	北海道社会貢献賞（地域医療功労者・救急医療功労者）表彰状授与式・知事感謝状贈呈式について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>【北海道社会貢献賞】</p> <p>10年以上の永年にわたり、へき地等において地域住民の医療の確保や保健衛生、健康管理に尽力し、その功績が顕著な個人又は団体の方々並びに救急医療の確保、救急医療対策の推進に尽力し、その功績が顕著な個人又は団体の方々に知事から北海道社会貢献賞を授与します。</p> <p>○受賞者 別紙のとおり</p> <p>【知事感謝状】</p> <p>15年以上の永年にわたり、救急医療に尽力した医療機関に知事感謝状を贈呈します。</p> <p>○受賞者 別紙のとおり</p> <p>1 表彰式 令和6年11月10日(日)14時40分頃から15時40分 札幌グランドホテル 別館2階 グランドホール 札幌市中央区北1条西4丁目</p> <p>※ 表彰状授与式・知事感謝状贈呈式は、北海道医師会創立77周年記念式典の席上で行います。 (北海道医師会創立77周年記念式典は13時30分から15時40分)</p> <p>2 贈呈者 北海道知事 鈴木 直道 (代理 北海道副知事 濱坂 真一)</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	保健福祉部地域医療推進局地域医療課 (担当者:大橋) TEL ダイヤルイン 011-204-5248 内線 25-313 公用スマホ 011-585-6104 内線 45-248		
-------------	---	--	--

令和6年度(2024年度)北海道社会貢献賞受賞者

地域医療功労者

氏名 えむら あきこ 江村 晶子 (根室市)

[功績概要]

根室市内の江村精神科内科病院医師として30年以上の長きにわたり、内科診療を中心に従事され、施設入居者のほか通院が困難な方への寄り添った医療にも尽力された。

根室市社会福祉審議会委員、根室市教育支援委員会委員のほか、学校健診、ワクチン接種予防医療など地域医療にも貢献されており、その功績は多大である。

氏名 じょうとく ぜんや 上徳 善也 (帯広市)

[功績概要]

平成3年に上徳整形外科医院を帯広で開業以来の長きにわたり、外科系一次救急休日当番等を実施し、地域医療の確保と住民の健康管理に寄与された。

この間、帯広市医師会理事、議長の要職を歴任するとともに、理事在任中には帯広市医師会救急医療部副部長を務められ、救急業務高度化連絡協議会の委員を務められるなど、帯広市の救急体制に関して活動された。

また、帯広市医師会健康教育事業部長として、帯広市の健康生活支援審議会委員を務められ、健康まつり実行委員長として帯広市民への健康に関する啓発活動など、帯広市の保健衛生に係る要職を歴任し、地域の保健医療福祉の向上にも長年努められてきた功績は多大である。

氏名 なみき あきよし 並木 昭義 (札幌市)

[功績概要]

昭和51年7月から市立小樽病院の麻酔科開設のため、初代麻酔科医長として赴任し、今日の小樽市立病院麻酔科の礎を築かれたほか、昭和62年8月からは札幌医科大学麻酔学講座の教授に就任し、麻酔科医、集中治療医さらには救急医療を担う医師の育成に尽力し、道内地域医療を担う人材の輩出に貢献された。

平成21年4月には小樽市病院事業管理者に就任し、現在まで4期16年の長きにわたり、小樽・後志の地域医療を守るため尽力された。

胆振東部地震の際は、DMATを有する災害拠点病院として、市内の医療機関の支援を行ったほか、感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを積極的に進め、災害時や感染症流行時の医療体制の維持に貢献された。

医師の乏しい郡部の医療機関への医師派遣にも協力され、小樽・後志における地域医療への功績は多大である。

氏名 みやむら たくろう 宮村 拓郎 (七飯町)

[功績概要]

平成元年に七飯町に「宮村内科医院」を開業し、地域住民の診療及び往診を行い、地域のかかりつけ医として地域住民の健康増進に尽力された。

また、平成7年より渡島医師会理事に就任され、以来、常任理事、副会長、会長職を歴任されたほか、平成17年に発足した七飯町の医療機関が組織する「七医会」の会長へ就任し、現在に至るまで約20年間務め、七飯町内の医療機関を取りまとめ、在宅医療及び初期救急医療を含む地域医療の確保に多大な貢献をされた。

平成29年から令和2年まで「渡島地方医療安全推進協議会」の会長として道南の医療安全支援センターの適切な運営等に対しても尽力され、渡島地域全体の地域医療への功績は多大である。

団体名 いりょうほうじん 医療法人 けいしょうかい 恵尚会 (佐呂間町)

[功績概要]

町立診療所クリニックさろまの開設当初から指定管理者の指定を受け、地域住民の医療の確保に尽力された。

また、指定管理者として施設設備の適正な保守管理はもとよりサービス提供が円滑に行われるよう努めるとともに、全国的な常勤医師不足や看護師不足の中、人材確保にも貢献され、令和6年度からは令和15年度までの10年間を契約期間として、3回目となる指定管理者の指定を受け、将来の地域医療の確保がされたことは地域住民の安心にも繋がっており、その功績は多大である。

救急医療功労者

団体名 しゃかいふくしほうじんほっかいどうしゃかいじぎょうきょうかい おびひろびょういん 社会福祉法人北海道社会事業協会 帯広病院 (帯広市)

[功績概要]

開設以来、十勝圏域の医療体制の維持に尽力し、救急医療体制を構築する上でなくてはならない存在である。

内科系、外科系を問わず、また小児、産科の患者も積極的に受け入れており、救急告示医療機関としての年間の救急患者取扱い件数は4,000件を超えるなど、その功績は多大である。

団体名 はこだてし や かんきゅうびょう 函館市夜間急病センター (函館市)

[功績概要]

市の救急医療体制における初期拠点施設として、極めて重要な役割を果たしており、新型コロナウイルス感染症の影響下において逼迫した救急医療体制の維持に貢献された。

令和6年3月末までに、延べ83万人の診療にあたり、道南圏唯一の夜間初期救急医療機関として住民の安全、安心の確保に貢献されており、その功績は多大である。

(敬称は略させていただきます。掲載は、各賞ごとの五十音順です。)

令和6年度(2024年度)北海道知事感謝状贈呈者

(救急病院・救急診療所)

永年にわたり救急病院・救急診療所として救急医療に献身的な努力をほらい、本道における医療の充実向上に寄与している。

市町村	医療機関名	告示年月日
寿都町	寿都町立寿都診療所	平成20年10月1日
更別村	更別村国民健康保険診療所	平成21年3月31日
陸別町	陸別町国民健康保険関寛斎診療所	平成21年3月31日
計	3診療所	

(敬称は略させていただきます。掲載は、告示年月日順です。)